

監査報告書	被監査部門：高知高陵交通株式会社 経営管理部門、現業部門(本社、橋原営業所) (管理者：戸田 政克・[REDACTED])		監査番号：
			監査年月日： 2019年5月29日・30日
監査範囲：安全管理体制全般			
監査チーム 監査リーダー：[REDACTED] 監査員：			
打合せ	開催日時	出席者	特記事項
開始打合せ	2019年 5月29日 10:00～10:30	戸田 政克・[REDACTED] [REDACTED]	
終了打合せ	2019年 5月30日 15:00～15:30	[REDACTED]	

1. 監査の目的

安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能していることを確認する。

2. 監査全般の講評・所見

平成30年度、輸送の安全に関する基本的な方針や、重点施策・目標・具体的計画、その他必要な事項について協議・決定する「運輸マネジメント会議」を定例開催(8回)し、輸送の安全を確保する体制を強化した。

その上で、2019年4月2日開催の同会議をマネジメントレビューの場として位置付け、前年度を振り返るとともに、新年度の安全重点施策等について、協議・決定している。

また、2019年については、貸切バス安全評価制度における評価認定を受けるべく、申請を行っている。

3. 重点監査事項の所見

須崎線の移管(2019年10月実施予定)に向けて、乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの設定、乗務員と車両の確保、自治体との協議等について、準備を進めていることが確認できた。

(詳細は別紙5 内部監査チェックリスト参照)

4. 前回監査の改善事項

ヒヤリ・ハット情報等の収集について、件数は11件と、前年に比較して大きく伸長した。

また、インターネットによるヒヤリ・ハット事例の映像を視聴し、各乗務員に危険を予知させるなど、事故等の未然防止に向けた取り組みにも着手している。

5. 監査の結果

乗務員高齢化への対応の遅れや、教育・訓練・研修等の計画的な実施といった面での弱さが見られるものの、運輸安全マネジメント制度への取り組み状況は、年々その精度が向上している。

一方で、安全方針等に関する各要員の理解度および浸透度を、定期的に把握する仕組みは特になく、工夫が求められる。

6. フォローアップ監査の予定

監査対象不具合等：特に重大な不備等はないため、フォローアップ監査は実施しない。

監査予定日：

監査対象部署：

7. 是正／改善措置の確認および評価ならびにフォローアップ監査の結果

8. その他特記事項等

承認	確認	作成
2019年 6月19日	2019年 6月19日	2019年 6月18日
代表取締役社長	安全統括管理者	監査リーダー
戸田 政克	[REDACTED]	[REDACTED]